



# 日の山



<https://www.ube-ygc.ed.jp/hke/>

学校教育目標：ふるさと東岐波を愛し、夢の実現に向けて意欲的に学ぶ子どもの育成

1月27日発行

## 「特別活動」について

「特別活動」と言われても、あまりピンと来ない方も多いかもしれません。突然ですが、小学校時代印象に残っていることはなんでしょうか？すぐ思い浮かびそうなものが修学旅行や宿泊学習、運動会などの学校行事だと思います。これらが「特別活動」です。具体的には、学級活動、児童会活動、クラブ活動、そして学校行事などが含まれます。一言で言えば、「自分たちの生活をより良くするために、話し合い、協力して解決していく活動」です。学校はまさに社会の縮図であり、子どもたちにとって一番身近な社会です。特別活動での体験や経験は大人になっても忘れられない思い出となります。

算数や国語には「正解」がありますが、特活が扱う問題には決まった正解がありません。「どうすればクラス全員が楽しめる集会になるか」「休み時間のトラブルをどう解決するか」こうした正解のない問い合わせに対し、子どもたちは一生懸命に意見を出し合います。

特に高学年になると、自分の意見を押し通すのではなく、「折り合いをつける」ことの難しさと大きさを学び始めます。反対意見にも耳を傾け、全員が納得できる「第3の案」を模索する。その過程で育まれる「自分たちで決めたことを実行する責任感」や「仲間への思いやり」は、将来、社会に出た時に最も必要とされる力なのではないでしょうか。

ご家庭でも、学校行事の思い出や、学級で頑張っている係活動のことなど、ぜひ話題にしてみてください。子どもたちの成長した姿が、きっと見えてくるはずです。

(特別活動担当)

## 6年生から5年生へバトンタッチ ～委員会活動の引継ぎ～

1月14日から、校内放送では5年生の緊張した声のアナウンスが聞こえます。

また、児童が何人かで事務室に入り、6年生が「事務室の入り方」「挨拶」「鍵の取り方」などを教え、一緒に来た5年生は、うなずきながら真剣な顔で確認しています。

3学期が始まり、6年生から5年生へ委員会活動のバトンがわたされました。6年生は2月末で委員会活動から卒業し、3月からは、5年生がすべての活動を引き継ぎます。

5年生は「6年生はこんな仕事をみんなのためにやってくれていたんだ！」といった気付きと驚きがあるとともに、任された責任の重さにちょっぴり戸惑いながら、これまで東岐波小の先輩方がずっとつないできたバトンを今年もしっかりと受け取っています。そして6年生は、5年生に優しく丁寧に分かりやすく仕事を教え、バトンを渡しています。

3学期の6年生は、3月の卒業までに、5年生だけでなく4年生以下の学年にもいろいろなバトンを渡しながら過ごします。150年を超える東岐波小学校のよき伝統が、今年も確実に引き継がれています。

## 2月の「日の山レストラン」

2月の「日の山レストラン」は、地域行事（ふるさと運動の「竹細工づくり」）のあとに、いつも通りオープンします。レストランについては、以下の通りです。

記

- |       |                |
|-------|----------------|
| 1 日 時 | 2月14日（土）12:00～ |
| 2 場 所 | 東岐波ふれあいセンター    |
| 3 食事代 | 100円           |

## ルールやマナーを守ろう ～皆が気持ちよく過ごすために～

学校だけでなく、いろいろな場所でお互いに気持ちよく過ごせるようにルール（きまり）やマナー等があります。

多くの子どもたちは、ルールやマナーを守り、自分も周囲も気持ちよく生活できるように心がけています。

しかし、「このぐらい、いいかな」「誰も見ていないし…」という気持ちの弱さからか、わがままな心が勝るからか、残念ながらルールやマナーを守れない子も…。

学校でも家庭でも地域でも、全ての子ども達がルールやマナーを守り、みんながいつも笑顔で過ごせるよう、これからも子ども達にルールやマナーを守ることの大切さを伝えていきます。ご家庭でも話題にしていただけると幸いです。